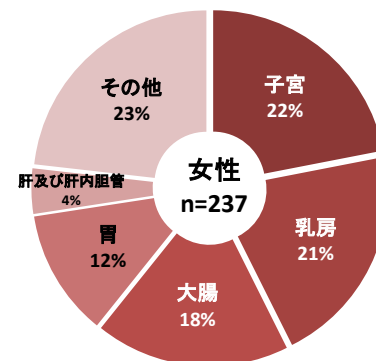
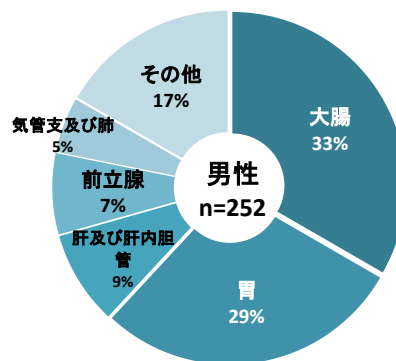
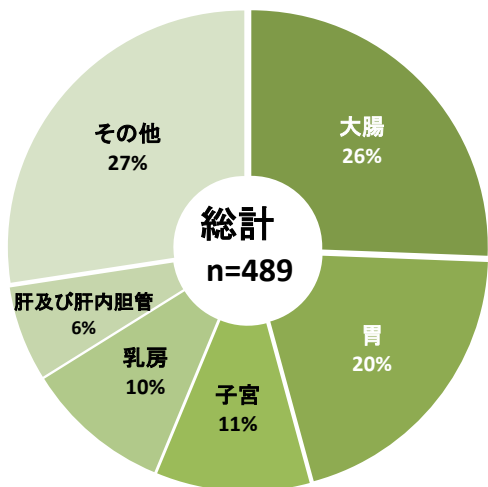


国立病院機構 神戸医療センター 2014年登録症例

当院で初回治療が施行された症例の統計

性別・登録件数		2014年診断分 合計										489人			
	1位	人数	2位	人数	3位	人数	4位	人数	5位	人数	小計	その他	人数	総患者数	比率□(%)
男	大腸	84	胃	72	肝及び肝内胆管	22	前立腺	19	気管支及び肺	13	210	その他	42	252	83.33%
女	子宮	52	乳房	49	大腸	43	胃	28	肝及び肝内胆管	10	182	その他	55	237	76.79%
合計	大腸	127	胃	100	子宮	52	乳房	49	肝及び肝内胆管	32	360	その他	129	489	73.62%



《集計対象と集計方法》

- 院内がん登録2014年症例 全国集計に提出したもの。
- 症例区分が 2：診断並びに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 3：他施設で診断確定され、自施設で初回治療に関する決定・施行がなされた症例のもの。
- C18結腸 C19直腸 S状結腸移行部 C20直腸は、大腸として集計、C53 子宮頸部 C54子宮体部は、子宮として集計。
- 性別、総計について、登録件数が上位5部位とその他のものをグラフ化。

《解説》

【消化器がん】

腹腔鏡手術の安全確保について注目が集まっているが、当院の腹腔鏡手術は各学会認定医・指導医など経験豊富なスタッフにより適応から周術期管理まで安全第一を考え診療にあたっている。患者様への負担が少ないと考えられる腹腔鏡手術であるが、大腸がんは原則腹腔鏡手術、胃癌に対しては一部進行癌に対しても適応としている。食道癌の鏡視下手術（VATS）、下部直腸癌に対する腹腔鏡下肛門括約筋切除（ISR）による肛門温存手術などの先進的手術も実施している。

【婦人科がん】

当院は神戸市の子宮癌検診指定医療機関であり、細胞診、コルポスコピー下組織診、様々なモダリティを用いた子宮腔部円錐切除術により子宮頸癌の早期発見・早期治療に努めている。婦人科腫瘍の治療方法は、手術療法・抗癌剤療法・放射線療法などの治療方法を組み合わせて副作用が少なく、最も効果が得られるように工夫している。手術は解剖学に基づいて、機能の温存と根治性を可能な限り両立する術式を採用している。

【乳がん】

女性で2番目に多く治療を実施している乳癌では、地域の方のニーズに応えられるよう乳腺外科を標榜し、専門性の高い治療を実施している。化学療法室、外来スタッフとの連携をはかり、質の高い化学療法を目指している。治療やそれに伴う副作用のケアなどについての相談や、経済的、精神的、肉体的いろいろな面での悩みに十分対応できるような連携を深めていく。